

# OMU Students 海外留学レポート



氏名 中田 佳吾  
所属 工学部 電子・物理工学科  
学年 4年

留学先 サンディエゴ州立大学  
留学期間 2022/8/8~2023/5/14

## 留学レポート Study Abroad Report

私は昨年8月から今年5月にかけて約10か月間アメリカ、カリフォルニア州のサンディエゴという都市に留学していました。詳しく言うと、サンディエゴで2番目に大きいサンディエゴ州立大学(SDSU)で主に自身の専攻である電気電子工学に関して勉強していました。このレポートでは大きく分けて留学前及び留学中のいくつかに分けていきたい思います。

### <留学前の準備等>

まず、留学前には主にアメリカの入国に関してのビザの申請、現地の大学の近くの寮の手配などです。ビザの申請の手続きは梅田にある米国領事館にいき、軽い面接を行ったうえで、ビザが発行されるという手順でした。そして、寮の手配は現地の留学センターからの紹介の大学所有の寮に決めました。特にアメリカの大学では、生徒の95%以上が下宿を行うため、今回の留学ではその雰囲気を味わうために、ホームステイではなく、寮での他2人とのルームメイトのシェアハウス暮らしになりました。結果的に、ご飯を異国の地の調味料の種類が制限されている中で作るのは難しかったですが、ある意味良い経験ができたのもったので、この決断は間違っていなかったと思います。最後にももちろん、留学行く前の英語の勉強に関して述べます。正直なところ、私のような理系の専攻では英語が得意な人は少なく、数学や理科ばかりやっているという感じです。その中で、1人だけ留学前の約1年間英語を勉強するのは、割とハードでした。そして、留学後恐らく日本人が困るのはリスニングとスピーキングの2つの能力であり、受験生時代にあまりやっていなかったため、これらを重点的しなければいけなかったことも見つかった原因の一つです。特にスピーキングは1年間で250回、1時間のオンライン英会話を行い、たたき上げました。このオンライン英会話は本当に友達と遊びに行くのを断っていたので、とても精神的にきつかったのですが、このオンライン英会話がなかったら、とんでもなく留学は苦勞していたともいます。そして、私の留学先は割とTOEFL及びIELTSの点数は低い点数で受け入れてくれるため、私自身も留学7か月前にIELTSでとった6.0以来受けていません。しかし、この英語のスコアについては留学前にできるだけ取っておくことが重要だと思いました。正直なところ行って見て、現地の大学生とちゃんと議論したいのであれば、TOEFL90、IELTS7.0くらいはとっておいたほうが良いと思いました。この点は私の誤算でした。もし、今後留学したいと思っている人がいるなら、留学前に英語は勉強しすぎたくらいでも足りないくらいだと思います。

### <留学中の出来事>

- 大学の授業

